

# 福島経済マンスリー

10月の県内経済は、一部に持ち直しの動きがみられるが、新型コロナウイルス感染症の影響により全体的に厳しい状況にある。

## 1. 2021年10月の県内経済

項目	コメント	景況判断	
		変化方向	水準
県内経済の景況	県内経済は、消費動向の一部や生産活動に持ち直しの動きがみられるが、公共投資や設備投資が前年を下回るなど、新型コロナウイルス感染症の影響により全体では引き続き厳しい状況にある。		
消費動向	大型小売店およびドラッグストア販売額が前年を上回った。一方、コンビニエンスストア販売額および乗用車販売台数は前年を下回った。		
公共投資	公共投資は、東日本大震災の復興工事が減少していることや令和元年東日本台風などの復旧工事がほぼ終息したことから、前年を下回っている。		
設備投資	民間非居住用建築着工は、工事費予定額が9カ月連続で前年を下回ったものの、前月比+7.0%と前月を上回った。		
住宅投資	新設住宅着工戸数は、新型コロナウイルス感染症による影響で、前年の水準が低かったことなどから、合計で4カ月連続して前年を上回った。主な利用関係別でみると、分譲が前年を下回ったものの、持家および貸家は前年を上回った。		
生産活動	鉱工業生産指数は、季節調整指数が89.4で前月比+1.1%、原指数が90.1で前年比+6.1%となった。		
雇用動向	有効求人倍率は、季節調整値が前月比△0.02ポイントで1.29倍となったが、原数値が前年比+0.13ポイントで1.33倍となった。一方、雇用保険受給者実人員は前年比△19.2%となった。		

注1：「変化方向」は前月と比較した現在における景況の変化方向（：改善、：不変、：悪化）を示し、当月と前月における3カ月加重移動平均の前年同期比を比較して判断。

注2：「水準」は現在における景況の水準を示し、当月の3カ月加重移動平均値と過去5年間の平均値を比較して判断。  
なお、公共投資および設備投資は6カ月加重移動平均値による判断、鉱工業生産指数、延べ宿泊者数は9月データ。

〈天気図（水準）の意味〉

				
晴れ	晴れ一部曇り	曇り	曇り一部雨	雨


良
い
悪
い


## 2. 県内経済動向の概要

### (1) 前年同月比

(単位：％、ポイント)

	項 目	前 年 同 月 比					
		2021年5月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	0.2	△ 4.6	△ 0.8	△ 4.7	1.7	2.4
	コンビニエンスストア販売額（全店舗）	1.0	△ 1.8	2.8	△ 5.2	△ 1.4	△ 1.9
	ドラッグストア販売額（全店舗）	3.7	4.5	7.0	3.3	4.8	6.3
	乗用車販売台数	23.6	△ 4.5	△ 12.1	△ 6.7	△ 19.3	△ 18.5
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	△ 22.2	△ 16.1	△ 24.7	△ 67.4	△ 65.8	△ 73.1
設備投資	建築着工工事費予定額（民間非居住用）	△ 47.3	△ 20.9	△ 54.3	△ 58.3	△ 56.0	△ 7.9
住宅投資	新設住宅着工戸数	53.6	△ 5.4	1.1	32.2	1.2	2.6
生産活動	鉱工業生産指数（総合）	10.7	15.1	8.9	r 14.0	6.1	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）	0.01	0.08	0.13	0.11	0.15	0.13
	雇用保険受給者実人員	△ 4.5	△ 14.3	△ 20.5	△ 16.7	△ 18.8	△ 19.2

注1 鉱工業生産指数は原指数、有効求人倍率は原数値。Pは速報値、rは訂正值。

### (2) 前月比

(単位：％、ポイント)

	項 目	前 月 比					
		2021年5月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	8.0	△ 4.2	3.6	2.7	△ 8.4	3.2
	コンビニエンスストア販売額（全店舗）	2.1	△ 0.6	7.5	△ 1.9	△ 3.6	△ 1.8
	ドラッグストア販売額（全店舗）	2.6	5.2	0.3	4.7	△ 6.5	△ 3.9
	乗用車販売台数	△ 14.0	11.3	△ 0.6	△ 12.2	9.6	△ 2.5
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	△ 4.5	4.9	△ 20.5	△ 18.4	17.0	△ 19.6
設備投資	建築着工工事費予定額（民間非居住用）	△ 30.3	45.8	△ 58.1	82.4	12.2	7.0
住宅投資	新設住宅着工戸数	△ 13.8	29.8	△ 10.0	14.0	△ 21.2	18.5
生産活動	鉱工業生産指数（総合）	△ 2.3	2.8	2.5	r △ 0.7	1.1	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）	△ 0.01	0.07	0.04	△ 0.05	0.02	△ 0.02
	雇用保険受給者実人員	△ 0.9	18.1	△ 1.0	3.0	△ 5.9	△ 5.4

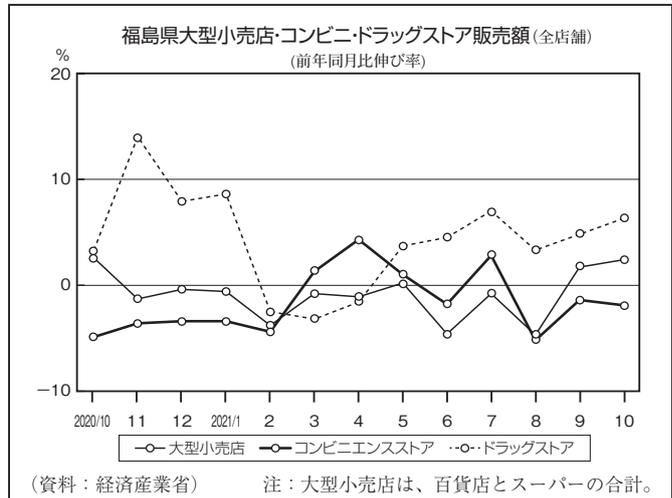
注2 鉱工業生産指数は季節調整済指数、有効求人倍率は季節調整値。Pは速報値、rは訂正值。

### 3. 県内経済動向

#### 消費動向

#### 大型小売店およびドラッグストアが前年比増、コンビニは前年割れ

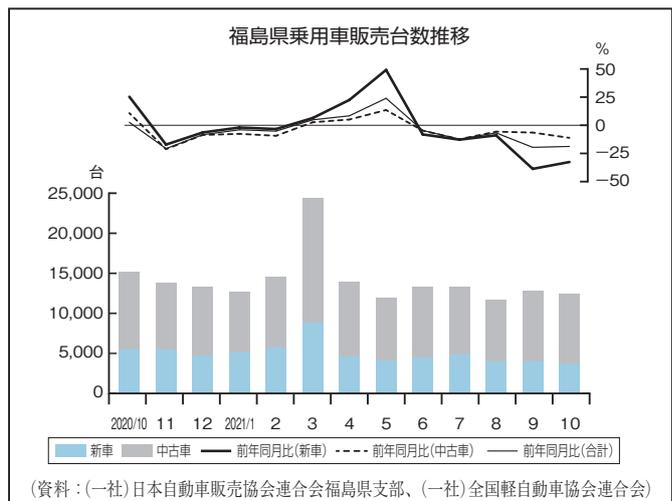
10月の県内大型小売店の販売額は227億16百万円（前年同月比+2.4%）と2カ月連続、ドラッグストア販売額は90億53百万円（同+6.3%）と6カ月連続でそれぞれ前年を上回った。一方、コンビニエンスストア（コンビニ）販売額は167億69百万円（同△1.9%）と3カ月連続で前年を下回った。なお、大型小売店、コンビニ、ドラッグストアの販売額合計は485億38百万円（同+1.6%）と前年を上回った。



#### 乗用車販売：5カ月連続で前年比減

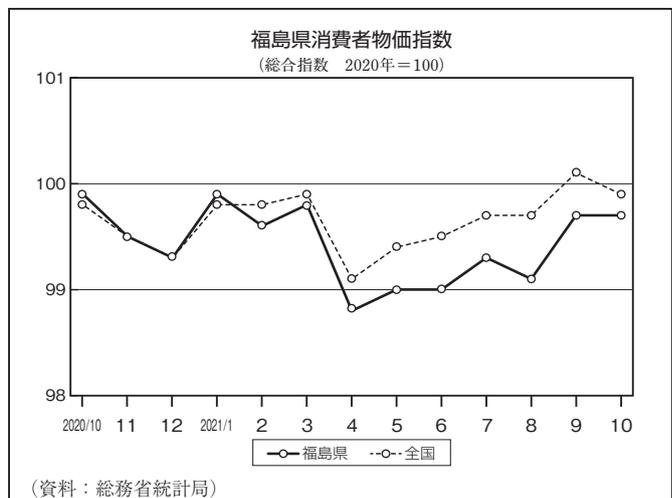
10月の乗用車販売台数をみると、新車が3,684台（前年同月比△32.1%）、中古車が8,744台（同△11.0%）、合計が12,428台（同△18.5%）となり、いずれも5カ月連続で前年を下回った。新車の減少は、半導体不足に加え、新型コロナウイルス感染症により東南アジアで自動車部品の生産が滞ったことによる生産調整の影響とみられる。

※2021年11月号から中古車販売台数を追加しました。



#### 消費者物価指数：前月比、前年比とも下降

10月の消費者物価指数は、総合指数（福島市、2020年=100）が99.7で前月比△0.1%、前年同月比△0.2%。費目別に前月比で見ると、「光熱・水道」の104.9（前月比+1.8%）など5費目で上昇、「交通通信」の92.0（同△1.1%）など3費目で下降。

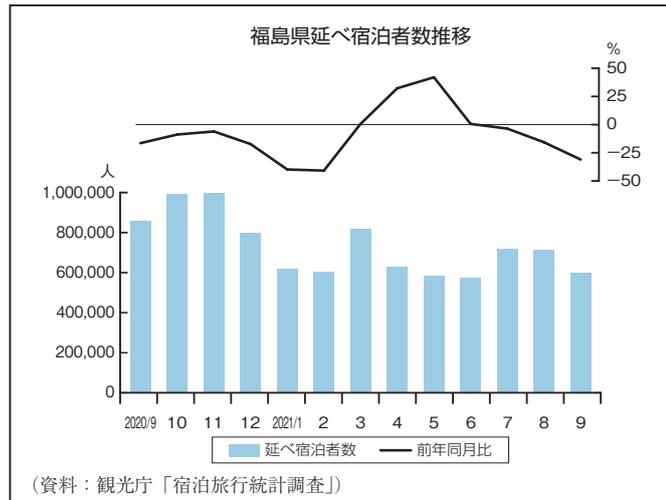


観光

※延べ宿泊者数は9月データ

延べ宿泊者数：3カ月連続で前年比減

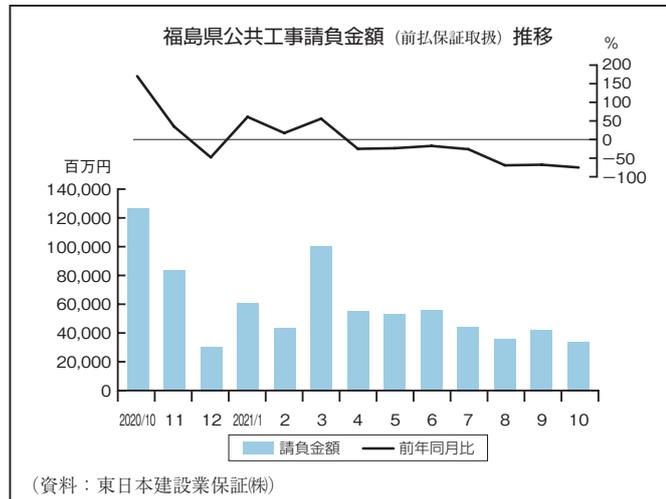
9月の延べ宿泊者数は、597,360人（前年同月比△30.5%）。本県では、9月末まで「まん延防止等重点措置」が出されていたことに加え、全国的にみても感染者数が高い水準だったことなどから、宿泊を伴う旅行を自粛する傾向が続いているものとみられる。



公共投資

公共工事：請負金額は7カ月連続で前年比減

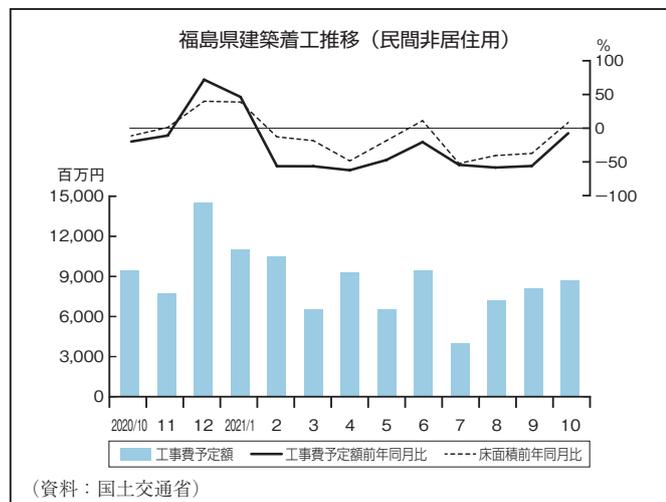
10月の公共工事前払保証取扱は、件数が790件（前年同月比△8.6%）、請負金額が342億51百万円（同△73.1%）、保証金額が171億31百万円（同△72.4%）。公共投資は、東日本大震災の復興工事が減少していることや令和元年東日本台風などの復旧工事がほぼ終息したことから、前年を下回っている。



設備投資

設備投資：工事費予定額は9カ月連続で前年比減

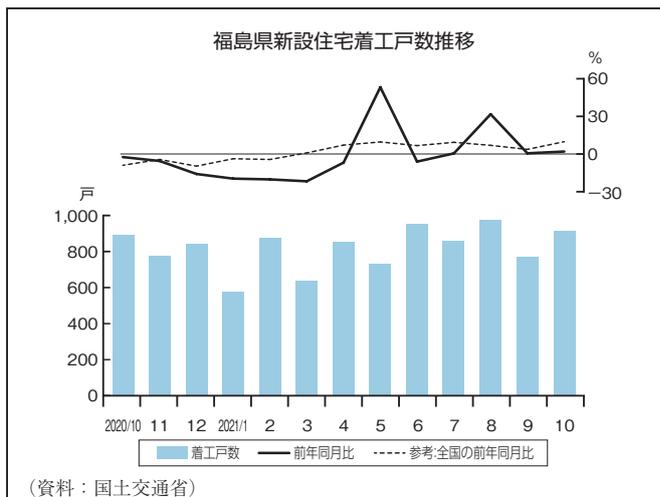
10月の建築着工（民間・非居住用）は、床面積が49,373㎡（前年同月比+7.9%）と前年を上回ったものの、棟数が149棟（同△6.3%）と前年を下回った。また、工事費予定額は86億84百万円（同△7.9%）と9カ月連続で前年を下回ったが、前月比+7.0%と前月を上回った。



## 住宅投資

### 住宅建設：着工戸数は4カ月連続で前年比増

10月の県内新設住宅着工戸数は914戸（前年同月比+2.6%）と、新型コロナウイルス感染症による影響で、前年の水準が低かったことから、4カ月連続で前年を上回った。主な利用関係別にみると、「持家」が482戸（同+16.1%）、「貸家」が303戸（同+4.1%）と前年を上回った。一方、「分譲」は120戸（同△34.4%）と4カ月ぶりで前年を下回った。

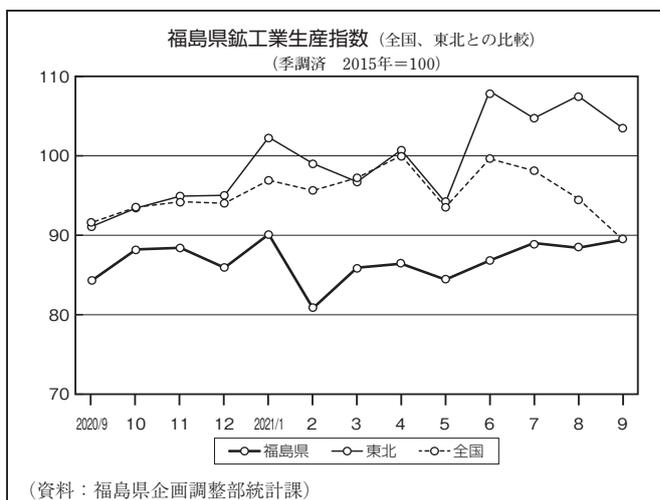


## 生産活動

※鉱工業生産指数は9月データ

### 鉱工業生産指数：前月比、前年比とも上昇

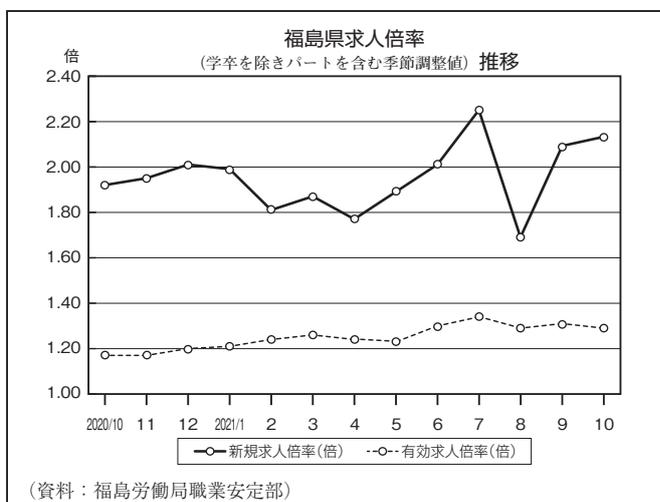
9月の鉱工業生産は、季節調整済指数が89.4（前月比+1.1%）、原指数が90.1（前年同月比+6.1%）。業種別の季節調整済指数をみると、「繊維工業」（前月比+25.2%）など9業種で上昇、「印刷業」（同△16.4%）など10業種で下降。



## 雇用動向

### 雇用動向：有効求人倍率は前月比下降、前年比上昇

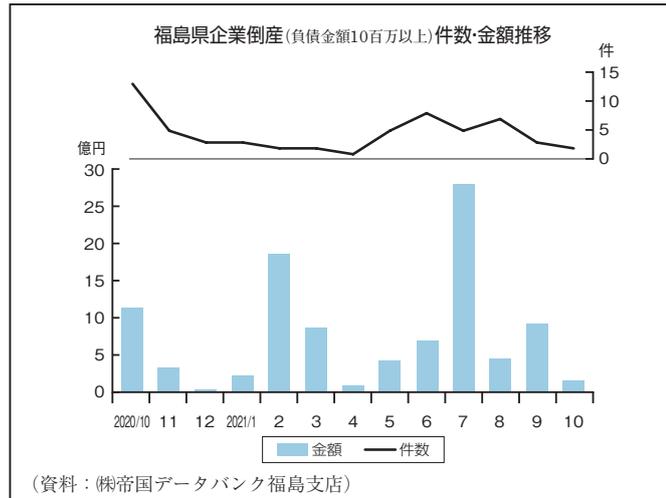
10月の新規求人倍率は、季節調整値が2.13倍（前月比+0.04ポイント）、原数値が2.18倍（前年同月比+0.20ポイント）。有効求人倍率は、季節調整値が1.29倍（前月比△0.02ポイント）、原数値が1.33倍（前年同月比+0.13ポイント）。一方、10月の雇用保険受給者実人員は6,484人（前年同月比△19.2%）。



企業倒産

企業倒産：件数、負債総額とも前年比減

10月の企業倒産（負債金額10百万円以上）は、件数が2件（前年同月比△84.6%）、負債総額が1億57百万円（同△86.1%）。業種別でみると、卸売業が2件。主因別でみると、販売不振が1件、その他が1件。

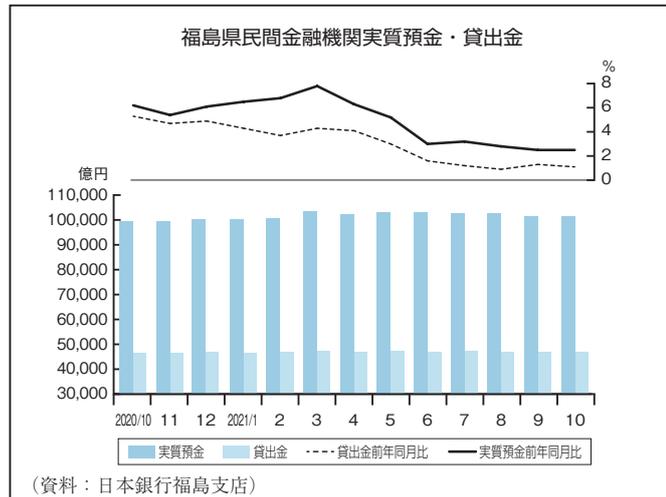


金融動向

資金需給：預金、貸出金とも前年比増

県内金融機関（全国銀行の県内店舗分、県内8信用金庫の全店舗分）の10月末の実質預金残高は、10兆1,942億円（前年同月比+2.5%）と2年5カ月連続で前年比増。また、貸出金残高は、4兆7,008億円（同+1.1%）と8年5カ月連続で前年比増。

※実質預金は、総預金から未決済の他店払い手形・小切手類の合計金額を控除したもの。



保証協会：保証承諾は件数、金額とも前年比減

10月の保証承諾は、件数が518件（前年同月比△63.2%）、保証金額が62億96百万円（同△68.5%）。10月末日現在の保証債務残高は、件数42,448件（同+12.4%）、金額5,651億91百万円（同+18.8%）。一方、10月中の代位弁済は、件数が24件（同+9.1%）、金額が1億20百万円（同△54.7%）。

